

令和6年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・体力・技能の向上を目指して、どの領域でも主運動につながる運動に継続的に取り組んだことにより、動きの理解や技能の向上が見られた。また、気が付いた動きのこつを共有し合う様子が多く見られるようになった。
- ・必然的に関わり合いがもてるよう単元計画を工夫したこと、対話による学習の深まりが増えた。

(2) 課題

- ・運動に対して、主体的に取り組む児童と、そうでない児童との二極化が見られる。
- ・コロナ禍の影響もあり、運動経験の減少、体力の低下傾向が見られる。運動経験を積み重ねる場が不十分である。
- ・自分やチームの課題解決のために、より適切な判断や柔軟な思考ができるような場が保証されていない。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較） *実施なし

(2) 分析（観点別）

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">○運動遊びの楽しさに触れ、楽しく行うことのできる児童が多い。○運動遊びの課題やめあて、動きのポイントを明確にして児童に提示することで、行い方を理解できている。○模範となる姿を真似することで、技能の向上が見られた。○運動経験の少なさから、実感を伴った理解が不十分であり、基本的な動きを見つける点に課題がある。	<ul style="list-style-type: none">○教師から提案された楽しみ方をもとに、思考しながら運動に取り組む様子が見られる。○考えたことを、他者に伝える表現の仕方には課題が見られる。	<ul style="list-style-type: none">○各種の運動遊びや、めあてのもたせ方を工夫することで、楽しさに触れ、すんで運動に取り組む児童が多く見られる。○順序やきまりを守り、誰とでも仲良く運動することにに関しては課題があり、実態を踏まえた簡単なルールの設定が必要である。○休み時間、意図的に働きかけないと校内で過ごす児童もあり、意欲に関して、今後二極化傾向が拡大することが懸念される。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○運動の特性を理解し、課題解決による楽しさや喜びを得る様子が見られた。一方で、協力から得られる達成感に触れる場面は少ない。 ○めあてや動きのポイントを意識し、運動遊びの行い方を理解できている。また、よい動きも見られる。一方で、頭での理解と体の操作が結びつかず、基本的な動作ができない児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の課題を把握できる。動きを高めようと繰り返し運動する姿は見られるが、適切な場を選択したり、友達の動きを取り入れたりできる児童は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種の運動の楽しさや喜びを感じ、すんで運動に取り組む児童が多い。最後まで努力することで達成感を味わえている児童もいるが、多くはない。 ○順序やきまりを守り、誰とでも仲良く運動することは概ねできる。また、友達の考えを聞き認めることができる。 ○休み時間も、多くの児童が外遊びを行っている。一方で、内遊びを好む児童もあり、経験から来る技能差の広がりが懸念される。

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○運動の特性を理解し、課題解決による楽しさや喜びを得る様子が見られた。 ○場や用具の使い方、安全を含め、概ね運動の行い方を理解できている。 ○一定の技能面での高まりが見られる。しかしながら、知識と技能が結び付けられないため、応用や発展した動きとつなげることができない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己やグループの課題を把握し、めあてを適切に設定することができる。 ○自己の課題に合わせて、運動の場を選択したり練習を工夫したりできる。 ○体育ノートを活用して、友達の運動のよさに気付いたり、それを自己の運動に生かそうとしたりしている。 ○動きを改善する姿は多く見られるが、児童同士アドバイスを送ったり教え合ったりする姿は少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種の運動の楽しさや喜びを感じ、積極的に運動に取り組む児童が多い。自己の最善を尽くして運動をするところまでは到達していない。 ○約束を守り、助け合って運動をすることができるおり、仲間の考えや取り組みを認められる。 ○遊びや運動の種類が固定化されていたり、十分な運動経験をしていなかつたりすることから技能等に差が生まれており、態度面にも影響している。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○単元で必要な基礎技能が身に付くよう、授業中十分な運動時間を確保する。 ○運動経験の少なさや発達段階を考慮して、スマールステップを踏んだ運動を取り入れる。 ○技や動きのポイントを明確に示すことで、めあてをもって運動に取り組むようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の課題に適した場を選べるよう、多様な場を準備する。 ○よい動きや気付きを擬態語や擬音語で表現したり、書いたりする活動を取り入れる。また、言語化できないものは動作化するなど表し方を工夫させる。 ○よい声掛けや動きを価値付け、共有し、掲示やICTを活用して伝える場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてや、場の工夫によって、どの児童も安心してすんで運動に取り組むことができる環境を設ける。 ○意図的な友達との関わりを取り入れながら、運動に取り組むようにする。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○単元で必要な基礎技能が身に付くよう、授業中十分な運動時間を確保する。 ○発達段階を考慮して、スマールステップを踏んだ運動を取り入れることで、達成感を得られるようにする。 ○技や動きのポイントを明確に示す。また、適切な言葉かけを行うことで、自己の課題をもって運動に取り組むようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の課題に適した場を選べるようにする。 ○学習カードを活用して、適切なめあてをもち、運動に取り組めるようにする。 ○体の動きをイメージしやすいように、よい動きの模範となる資料をいつでも確認できるようにする。 ○友達と関わりあって運動に取り組んでいる児童を称賛し、全体で共有しながら授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各種の運動で達成感を味わい、より主体的に取り組むことができるよう、一人一人にあった活動内容や授業展開の工夫をする。 ○グループやチームでめあてをもち、関わりを重視して運動に取り組むようにする。

（3）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ○単元で必要な基礎技能が身に付くよう、授業中十分な運動時間を確保する。 ○発達段階を考えて、スマールステップを踏んだ運動を取り入れる。 ○動きの応用や発展をねらって、技や動きのポイントを明確に示す。また、適切な言葉かけを行うことで、つまずきに気付かせ、自己の課題を明確にして運動に取り組むようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の課題に適した場を選び、課題解決のための工夫ができるよう用具や場の準備をする。 ○体育ノート等を活用し、チーム・グループ・個のめあてをもち、取り組みを工夫する活動を重視する。 ○ICT機器を活用して、運動を確認し、自分の考えや仲間の考えを共有できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の体力を鑑みて、技能や体力を高められるように活動内容や授業展開を工夫する。 ○関わりを重視した授業展開をする。関わり合いから得られる運動の楽しさや喜びをより味わうことで、意欲的に活動させる。